

17番 米永 淳子 議員

1 新型コロナウイルス対策について

- (1) オミクロン株流行期において、5歳から11歳までの健康な子どもは重症化しているか。
また、オミクロン株に感染したエビデンスなどのデータは存在するのか示されたい。
- (2) これまでに報告されたワクチン接種による副反応について、主なものはどのような症例があり、本市は何件報告されているか。そのうち20歳までの若い人の副反応の内容、件数について示されたい。
- (3) ワクチン接種後の相談体制は十分か。
- (4) 副反応による健康被害者への救済について周知は十分か。
- (5) これまでの新型コロナウイルス対策から、今後の新型コロナウイルス対策についての考え方、ワクチン接種券の配布方法等方針についての変化はないか。
- (6) 子どもたちのワクチン接種、マスク着用、学校給食時の黙食の推進撤廃について示されたい。
- (7) 接種に向けた体制の強化を図るために設置された「新型コロナワクチン接種推進室」だが、ワクチン推進室の看板のままでもコロナ対策を進めていくのか。

2 MQ-9 配備計画について

- (1) 国からの説明及び現在までの対応について示されたい。
- (2) MQ-9 配備予定が1か年という根拠について示されたい。
- (3) 自衛隊も無人偵察機を持っているが、米軍機での一時展開でなければならない理由は何か。

17番 米永 淳子 議員

2 MQ-9 配備計画について

- (4) 米軍が市内宿泊所を一年もの間利用するに当たって、米兵との住民トラブルなど、もしもの事故や事件が発生した場合、防衛省としてどのような責任を取るのか確約書を交わす予定はあるか。
- (5) 市民生活の安心のために、例えば 22 時には米兵はホテルに帰着するよう生活行動規制できないものか。
- (6) 鹿屋基地で勤務する米軍の感染者の行動歴など情報の共有ができるのか。
また、PCR 検査義務のない米兵がコロナ感染源となる可能性もあるが、一般市民と同じように検査の徹底や外出の際のマスクの徹底が図られるのか、具体的な方法を示されたい。
- (7) 日米地位協定において、「公務執行中の作為又は不作為から生ずる罪」の中に、公務として証明された場合は日本の刑事罰に当たる事件であっても処罰されないといわれるが、今回、米軍が自衛隊基地で一年間勤務する間の全てが公務中となるのではないか。
- (8) 米軍は自衛隊の管制塔の指示に従うのか。
また、航空管制業務に関して、安全性を確保するため、せめて鹿屋市上空飛行時は自衛隊の管制塔の指示に従うよう最低限の規制を米軍に対しても課すべきではないか。
- (9) MQ-9 の飛行により新たな騒音被害が発生することになる。エリア外でも崖下の住居など騒音被害を訴える人も少なくないが、これまでの騒音エリアを見直す必要があるとは考えないか。
- (10) 日米地位協定の見直しの積極的な要望など国に対する今後の対応についてどのようなことを考えているか。

17番 米永 淳子 議員

3 オーガニック給食と有機農業推進について

- (1) 農水省が策定した「みどりの食料システム戦略」とはどのようなものか。
- (2) 本市においてオーガニック給食導入を進めるに当たり、課題はどのようなものがあるか示されたい。
- (3) 鹿屋市の食と農業、教育のブランド化となるよう先進事例を研究し、取り組む考えはないか。

4 福祉行政について

- (1) 前立腺がんや膀胱がんなどにより使用した尿もれパッドの捨て場所に人知れず苦勞している男性もいると聞く。男性用個室トイレのサンタリーボックス設置の考えはないか。

5 大型店舗跡地利用について

- (1) 旭原町にある大型遊戯場跡地の利活用について、保育園や幼稚園などの保護者から全天候型の施設として利用できないかという声もあるが、どのように考えるか。